

2 海の科学室活動【所要時間 30分～50分 70名】

(1) ねらい 展示物や掲示物を見たり、ライブラリーやQ&Aなどを行うことによって、海の生物やその生活環境、生物どうしのつながりなどを理解させる。また海で働く人びとの生活について知らせるとともに、栽培漁業の重要さや、自然保護の大切さを理解させる。

(2) 事前指導・準備

- 児童・生徒：筆記用具
- 所 員：記録用紙

(3) 指導上の諸注意（引率者）

- 室内では静かに活動させる。
- Q&A、ライブラリーは指示があってから始める。



(4) 活動展開例

活動内容	時間(分)	児童・生徒の活動と活動への支援	備考
1. 説明を聞く。	5	●壁面の掲示物や展示物について説明を聞く。	●筆記用具
2. レーザーディスク ライブラリー（海の生物）を見る。	20 ↓ 40	●海の生物の生態や習性、生活環境などについて説明する。	●記録用紙
3. レーザーディスク Q&Aをする。 （海のパスル）		●Q&Aの方法を説明する。 ●問題が終わったら採点し、自己評価する。	
4. まとめをする。	5	●発表し、まとめる。	

資 料

1. 掲示物・展示物

- | | |
|------------|-------------------------|
| (1) 徳島県の海 | 変化に富んだ海岸の特徴を生かして生活している。 |
| (2) 徳島県の海岸 | 海岸線の代表的な姿を写真で紹介 |
| (3) 人と海の歴史 | 漁法とつり針のいろいろ |
| (4) 海の植物 | 海の生物いろいろ、海藻類の分類と利用 |
| (5) 海の動物 | 食物連鎖と貝のいろいろ |
| (6) 育てる漁業 | 栽培漁業センターの仕事 |
| (7) 海、これから | 未来の海 |
| (8) 「漣 痕」 | 化石模型 |
| (9) 南極の石 | |

2. レーザーディスクライブラリー（海の生き物）

題 名	時間	題 名	時間
1 側線のはたらき	2分	6 魚のそうじをする魚	1分
2 魚の歯のつくり	1分30秒	7 魚の身のまもりかた	4分
3 魚のかわった泳ぎかた	50秒	8 海の小さな生物（プランクトン）	1分20秒
4 ひげでえさをさがす魚	1分	9 エビ、カニのなかま	2分
5 かわったえさのとりかたをする魚	1分	10 ウニ、ヒトデ、ナマコのなかま	1分40秒